

宇宙生命哲学

ことばはじめ

43

北里環境科学センター
名誉顧問／宇宙生命哲学者 伊藤 俊洋

地球上から戦争を無くすには

ロシアがウクライナに侵攻し、また、地球上に戦争が始まった。子供を含む市民ばかりがロシア兵も犠牲になり、世界経済も混乱に陥って、コロナ禍で疲弊している社会が、さらに打撃を受けている。地球上から戦争を無くすことは不可能なのだろうか。今回は、この難題に対して、宇宙生命哲学的に考察してみたい。

地球上の生命現象とは、太陽エネルギーを基盤にして、水と二酸化炭素とミネラル群が織りなす壮大な物質循環の世界と捉えることができる。すべての生物は、過去の生物が使った原子・分子を使って現世を生きしており、死ぬと再度、原子・分子となって地球環境に戻り、未来の全ての生物の一部となって蘇る。「我々はどこから来たのか、我々は何者か、我々は何処へゆくのか。」の問いに対して、「我々は環境から生まれ、環境に戻る。我々は、時空を超えて、全ての生物の中を循環している。」と答えることができる。人の死とは、絶望的な奈落の淵に落ち

て行くことではなく、この地球上で、常に新しく環境の一部として生まれ変わることである。だからと言って、人が戦争で殺されて良いわけではない。地球上の生命世界は、全ての動物、植物、微生物、さらには大気、大地、大洋の環境を含め、時空を超えた



我々は何者か 我々はどこから来たのか 我々はどこへ行くのか
1897 ポール・ゴーガン
高次元巨大環境生命体 (宇宙船地球号) と考
えることができる。全
ての生物が、この宇宙
船の乗組員であり、生
物界の頂点にいる人類
の責任は重大である。
人類同士が敵対して戦
争している時ではない
と思う。人類は、素敵
な地球人となって、そ
の任務を果たさなけれ
ばならない。
素敵な地球人とは、
国家・人種・民族・宗教・性別・貧富の差・文化・
文明の壁を越えて仲良くし、あらゆる人権、民族の
多様性、生物多様性を尊重し、戦争をせず、むやみに水や空気が土壌を汚さず、生活を楽しみ、自分の心の宇宙を、広く、深く、豊かなものにする努力を死ぬまで続ける人のことである。

世界が目撃した東京五輪と北京冬季五輪の開会式で、ジョンとヨーコの「イマジン」が世界を一つに

結んだ。「宇宙生命哲学」の精神に繋がっている。想像してごらん／天国も地獄もない／国も宗教もない／飢えや争いごともなく／みんな一つの世界で／一緒に生きている／夢じゃないよ／みんながその気になれば／すぐ実現する
私も、本当に、そう思っている。今、戦争に突き進んでいる指導者たちに、このメッセージを届けた
い。